

緊急事態宣言解除後の保育について

2020年5月29日

おひさま保育室

5月26日より緊急事態宣言は解除になりました。

新型コロナウイルス感染拡大予防の基本

1. 手指の衛生
2. 咳エチケット
3. 定期的な換気を行う
4. 人と人との距離を取る
5. 体調不良があるときには登園・出勤しない

とされていますが、正直なところ、0～2歳児の保育ではその中でも一番有効な距離を取ることが、最も困難です。小さな子どもにマスクをすることは、小児科学会で呼吸困難や熱中症などのリスクがありますのでしない方がよいとされています。また、涙、鼻水、咳、尿、便からの感染が起こるとされていますが、これを防ぐのも大変困難で、無症状でも感染しているかもしれない大変難しい新型コロナ対策にできる限りの努力をしながら保育をしていくこととなりますので、自粛解除を前に、おひさま保育室の保育についてお知らせいたします

職員体制について

基準保育数

子どもの人数：保育士数

0歳児4名：1.3名 1・2歳児10名：1.6名

障害児1名：0.5名 小規模加算1名 合計5名

再開時 しばらくの間、次の理由により、保育士基準数5名のところ、2名加配して7名で保育します。

- ・子どもが2か月自粛生活を送り、生活習慣や心理的影響が考えられるため。
- ・「密」を防ぐ手立てとして少人数、分散で保育を行うため。
- ・朝夕の引き渡し時に人手がいるため。
- ・急に体調を崩した子どもがいた場合の対応。
- ・衛生管理のための仕事が多くなるため。

衛生管理について

引き続き送迎の際は、外の門での引き渡しとします。お迎えの保護者の方はマスクを着用してください。

おもちゃ類、家具、床は、毎夕、次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。

0歳児のおもちゃは、舐めたりすることもあるので、午前・午後で交換します。

子どもの手洗いは約 20 秒になるので「ハッピーバースデー」を歌いながら行っています。登園時、食事の前後、外から入った時、鼻水や唾液などで汚れたときに手洗いをします。当面の間、個人の手拭きタオルは使用せず、ペーパータオルを使用していきます。排泄物からもうつる可能性があるようなので、衣類が汚れてしまった場合は、そのままお返しします。その他、感染拡大防止についての対策については『ミニ文集に寄せて』でオーマが記入したものを参考に読んでください。

食事について

分散して各部屋で摂るようにします。子ども同士はまだお喋りをしながら食べたりしないので、同じ机でもリスクが低いです。基本は3名で食事をする予定です。食事テーブルはアルコール除菌でその都度拭いています。保育士はマスク、介助時用エプロンをつけて介助します。

午睡について

子どもと子どもの口元の間隔が1 m以上空くように互い違いに眠るようにします。布団に唾液や鼻水がついてしまった場合は、少量でもお返しするので洗濯をお願いします。

健康について

従来体調不良の理由に加え、新型コロナウイルスをも注意しなければなりません。子どもの健康観察のポイントは

- ・体温（37,5℃以上の熱がないか、解熱後 24 時間以上経っているか）
 - ・顔色・機嫌・活気・咳・鼻汁・呼吸の様子・遊ばない・動かない・食欲の低下
- ☆気を付ける呼吸の様子：呼吸が速い、肩で呼吸をする、呼吸のたびに胸がへこむ、横になると呼吸が苦しそうな様子がある（横になりたがらない）

上記ポイントを押さえつつ、子どもの様子がいつもと違うようならすぐに連絡をしましょう。

保育について

保育室はオーナー室を含め4部屋あるので、分散して保育します。午睡、食事、遊びも室内では分離し、各部屋で過ごすようにし、各部屋には最大で子ども4名保育士2名とします。クッキングや皆で集まるような活動は、当面は控えます。屋外遊びは密を避けつつ、自由に遊べるようにします。散歩では、散歩車での移動（密になるので）を極力避けます。

おやつ後なるべく庭に出て遊びます。

小さな子にとって、人を認識してのコミュニケーションは大切なので、保育士は保育中マスクを常用しません。言葉がけと表情をよく考えて関わるようにします。
社会性が分断されてしまった今だからこそ、子ども同士の関りを大切にしたいと思います。

最後に、おひさま保育室としては細心の注意を払って感染のリスクを減らすようにしています。しかし、未知のウイルスであるため100%の保証はできないことをご了承ください。
心配なことがありましたら、いつでもお声かけください。

参考：保育現場のための新型コロナウイルス感染症対応ガイドブック 第1版
～全国保育園保健師看護師連絡会～